



# かわにし

川西高等特別支援学校  
学校だより 第27号  
令和4年12月9日

## 「生徒が輝く音楽発表」

音楽主任 山澤小百合

今年度の音楽発表は「響け！川西太鼓」「ジャニーズ今昔メドレー」の2曲でした。「響け！川西太鼓」は、毎年、演奏している曲です。8名の選抜チームによる迫力のある演奏でした。「ジャニーズ今昔メドレー」は、「音楽を選んだ生徒の中で、ジャニーズの曲を好きな生徒が多かったこと」と「保護者の皆様にも、懐かしみながら楽しんでいただきたい」という思いから選曲しました。やまゆり祭に向けて、7月から心一つに練習をすすめました。演奏直後、「感動した」とお声かけいただいた保護者の方もいらして、生徒は大変喜んでいました。ありがとうございました。



## 「個性あふれる作品」

美術主任 横山めぐみ

小体育館に、美術作品、全校作品、総合的な探究の時間に学んだことをまとめたポスター等を展示しました。美術の作品は、モダンテクニックを使って自分の好きなこと等の思いを表現した作品、デザインを工夫した張り子のランプシェード、絵本『りんごかもしれない』からイメージを広げた共同制作「りんごのきょうだい」を展示し、個性の光る作品が空間を彩りました。今年度は生徒が自分の作品について紹介しました。大勢の方の前で堂々と自分の作品について自分の言葉で思いを語った姿が頼もしく思えました。また、感想を伝え合いながら鑑賞する姿がたくさん見られました。感想をいただいたことは、生徒の自信や励みとなりました。ありがとうございました。



## 「製品販売・パック詰め体験 ご協力ありがとうございました」

クラフト班担当 中沢 誠

コーヒーや紅茶のテトラパックの製品販売と紅茶のパック詰め体験を行いました。購入していただくお客様から喜んでいただける、お客様のお役に立てる製品づくりを目指し、班員みんなが協力しながら気持ちを込めた仕事を心掛け当日に備えました。当日は、笑顔でお客様をお迎えし、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」などの声かけを明るく元気に行うことができました。また、紅茶のパック詰め体験にも多くの方にお越しいただき、製造過程を知っていただきました。大勢のお客様とのふれあいを通し、生徒は日頃の学習の成果を実感することができました。ご協力ありがとうございました。



## 「セルフ立ち飲みカフェ River West & バックヤード体験」

カフェ・バックヤード班担当 大野 雅也

カフェ・バックヤード班の接客、バックヤード業務の体験と実演はいかがでしたでしょうか。『明るく元気に接客する』や『台詞を覚えて丁寧な接客をする』など、それぞれの目標をもって生徒たちは練習を積んできました。当日の生徒たちは、たくさんのお客様を前にして緊張しながらも、それぞれ高めてきた技能を精一杯発揮していました。実際にお客様とふれあう中で掛けていただいた「ありがとう」、「おいしかったよ」等のあたたかい言葉は、生徒たちの自信となり、目指す社会人像をより確かなものとしていただきました。ご来店いただき、本当にありがとうございました。



## 「体験活動へのご参加ありがとうございました」

清掃・介護班担当 峯村 淳

清掃・介護班では、職業技能検定に向けて練習を重ねた「自在ぼうき」「ダスタークロス」のデモンストレーションと体験活動を実施しました。やまゆり祭に向けて練習をする中で、「教える」ことの難しさを痛感しながら、「こうした方がよい」「こう言った方がよい」と話し合いと改善を重ねて当日を迎えました。至らない点もたくさんありましたが、生徒たちは少しでもよりよく実施できるよう頑張ることができたと思っています。ご参加いただいたたくさんの保護者の方々、ありがとうございました。



## みんなで作る 修学旅行

3学年主任 岩井 晶子

9月15・16日の2日間、3年生は村上・新潟方面への修学旅行へ行って来ました。生徒の修学旅行実行委員が中心になって考えたキャッチフレーズは、『みんなで作る修学旅行～安全・協力・成長・思い出』でした。生徒に「どんな修学旅行にしたい？」と問いかけた時に最初に出てきたのが“安全”だったことは、長く続く新型コロナウイルス感染症の影響を物語っていると感じました。生徒の“安全”を保障するため、当初の東京方面から新潟・村上方面への2泊3日へ、そして1泊2日へと3度行先や内容を変更しての旅行となりました。

新しく行き先となった村上市を調べる中で、オリンピック選手が合宿をしているスケートパークがあることを知り、間近で実際の滑りを見学するとともに、見学後は近くの海を散策することもできました。その他にも、迫力満点の鮭に感動した「千年鮭きっかわ」、好天に恵まれ絶景だった新潟日報メディアシップ、見学だけでなくパン作りの体験もさせていただいた「パンも大谷」、そして多くの生徒が楽しみにしていた村上の海の幸や新潟のホテルのテーブルマナー体験、家族へのお土産選び等、修学旅行でしかできない、かけがえのない体験ができました。「長岡の宿泊学習の経験を生かして、仲間と相談しながら活動したい！」という生徒の思いをいかすために、せめてもと地図を見ながら、グループごとに新潟の街を歩いたことも、よい思い出になりました。

本当に「みんなで作った修学旅行」。協力していただいた方に感謝するとともに、かけがえのない経験を今後の生活にいかして行ってほしいです。



## 前期学校評価の報告

10月中旬に、保護者の皆様から前期の学校評価アンケートに答えていただきました。以下、アンケート結果を報告します。すべての評価項目において、「そう思う」「おおむねそう思う」の肯定的な評価を多くいただきました。一方で忌憚のないご意見もいただきました。ご記入いただいたご意見はすべて掲載させていただきました。後期も生徒、保護者、地域の皆様の期待に応えられますよう、一層努力して参ります。ご協力ありがとうございました。

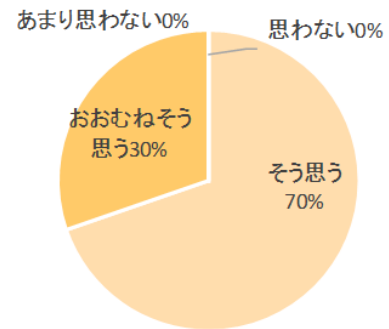
### (1) 教育課程について

学校は、地域資源を生かし、地域社会での体験的・実践的な学習や生徒の将来に必要な力を身につけるための学習を実施し、また、その充実を図っていると感じますか？

#### 【ご意見】

・生徒の心に届く学習をどんどん進化させていただいていると感じています。

### (1) 教育課程



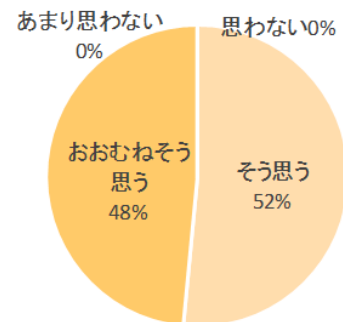
### (2) 学習指導について

生徒は、授業を通して、将来の夢や目標をもって取り組もうとする意欲を高め、将来の職業生活に必要な基本的な知識や技能、態度を身に付けていると感じますか？

#### 【ご意見】

・子供との会話に先生方のご指導のたまものと思われる「自分がどう考え、どう行動すると、社会の一員として活動できるか」の意志をもつようになりました。

### (2) 学習指導



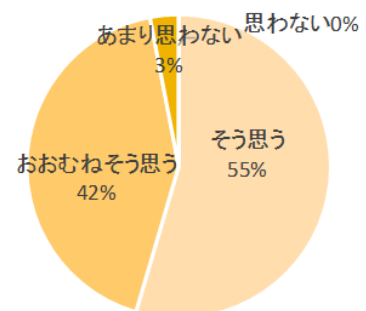
### (3) 生徒指導について

生徒は、学校生活を通して、人権意識を高め、人を思いやる気持ちやいじめを許さない態度が育っていると感じますか？

#### 【ご意見】

・我が子は、特性上、ひとを思いやったり相手の気持ちになってみるのが苦手ですが、少しずつ相手の動きや考えなどに寄り添うことができてきたのかな？と思います。ありがとうございます。

### (3) 生徒指導





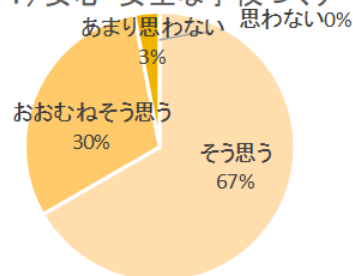
#### (4) 安心安全な学校づくり

学校は、学習環境を整え、生徒にとって安心・安全な学校づくりに努めていると感じますか？

##### 【ご意見】

- ・冬は学校内が寒すぎます。
- ・横断歩道に押しボタン信号が早い内に実現すること、そのために何かできることがあれば協力したいと思います。

#### (4) 安心・安全な学校づくり



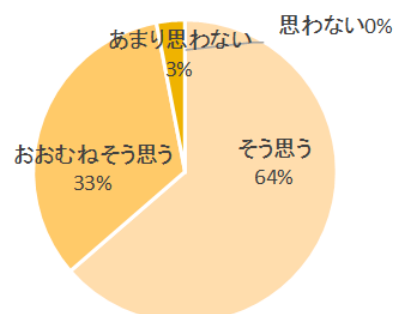
#### (5) 専門性の向上

学校は、生徒に必要な配慮を行うとともに、生徒が個性を十分発揮できる授業づくりに取り組んでいると感じますか？

##### 【ご意見】

- ・少し器を小さめに設定されている気はしますが、それが安定的成長につながっているとも思います。
- ・生徒それぞれの実習が違うと思うので、支援の要・不要もバラツキがあると思います。特に集団での活動だと全員同様の動きは難しく、先生方が手を出しすぎず、上手に見守ってくださっていると思います。

#### (5) 専門性の向上



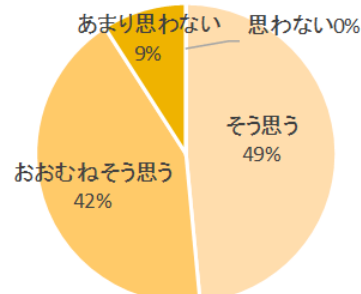
#### (6) 関係機関との連携

学校は、家庭や地域に向けて学校の取組や生徒の様子を発信し、家庭や福祉・労働等の関係機関との連携を図っていると感じますか？

##### 【ご意見】

- ・時々、知っている人前提での情報発信に感じることはありますが、きめ細やかに対応いただけていると思っています。
- ・家庭や福祉・労働等の関係機関との連携を図っていることが伝わってこない。

#### (6) 関係機関との連携



#### (7) その他(お気付きの点など)

- ・今は、クラフト、清掃介護、カフェバックヤードの3つですが、今後もっと増えるといいなと思います。卒業までに学校でしっかり学べるので、子どもたちの選択の幅が広がるからです。
- ・先生方は丁寧に見てくださっていると感じます。また挨拶やマナーについても個別にしっかりと指導して下さっているのでありがたいです。今後もよろしくお願いします。
- ・家庭との連携をとり、生徒の情報共有を密にし、教育、目配り、気配り、心配りを見た時、その生徒の将来の仕事、適性、そして性格(思い)を大切にしたい時、親も子の人生に光そして希望があると信じて頑張る努力が大切。(見守りながら心から感謝申し上げます)
- ・簡単でも「継続は力なり」の家での課題がほしいです。
- ・なかなか学校での取組や様子が分からないため、アンケートの回答に困りました。
- ・専門性の向上に関してのことですが、発達障害に対する支援や考え方が多様化してきて、学校でも対応すべきことが増加してきていると思います。小→中→高と進むにつれ、支援を必要としている子供も増えています。同じ活動をするとき、ついていくのが難しい、物足りないなどもあるかと思いますが、学校生活を送るにあたって、それらのことがストレスにならないことを願っています。先生方は、日々、生徒たちとしっかり向き合ってくださいることが本当に有り難いです。
- ・いつも一生懸命にご指導いただきありがとうございます。